

第44回 新潟神経学 夏期セミナー

脳と心の基礎科学から臨床まで

最前線の研究者、臨床家に触れて体感しよう!

2014.7.31(木) ▶ 8.2(土)

場所: 新潟大学脳研究所 統合脳機能研究センター(6F) セミナーホール

主催: 新潟大学脳研究所 新潟脳神経研究会

7.31
thu

見学・体験
実習コース

- ①基礎神経科学履修コース: A. フラビン蛋白蛍光イメージング実習(7/29~31)(8名)
(新学術領域「メン・神経回路」との共催)
B. 遺伝子改変マウス作製の実験(7/30~31)(4名)
C. 神経細胞の培養と遺伝子導入(7/31のみ)(6名)

- ②脳研レジデント(臨床)体験コース: (7/31のみ)(10~20名)
脳外科、神経内科、病理(Brain Cutting, CPC)、
3T-MRIなど脳研の臨床を一日で体験できるコース

共同利用・共同研究拠点プログラム

共同利用・共同研究拠点プログラム(旅費支給あり)に応募される方は下記HPをご覧ください。

個性化する神経
細胞の分子基盤
と脳機能

- 10:00~10:40 「神経細胞の個性を要する感覚連合」
10:40~12:00 「神経細胞の個性を決める分子機構」
13:00~14:00 「大脳皮質の神経結合特異性」

吉武 謙平(新潟大・脳研)
八木 健(阪大・生命機能)
吉村由美子(生理研)

8.1
fri

遺伝子改変動物:
次世代のモデル動物

- 14:00~15:00 「遺伝子改変マウスモデル」
15:00~16:00 「自閉症ヒト型マウスモデル」
16:00~ ポスター発表(脳研究所の研究紹介)
18:00~ 懇親会(講師・研究者、臨床家と語ろう!)

佐々木えりか(実中研)
内匠 透(理研BSI)

8.2
sat

神経疾患と
バイオマーカー:
われわれは神経疾患の
予後を予測できるか?

- 9:30~10:05 「総論:次世代のバイオマーカーに求められるもの」
10:05~10:40 「神経変性疾患をバイオマーカーで診断?」
10:40~11:15 「ALSの予後・進行予測マーカー」
11:15~11:50 「脳梗塞と血液バイオマーカー」
11:50~12:25 「胚細胞腫の高感度PLAP測定法の確立」
13:15~13:50 「統合失調症の原因解明に挑む」
13:50~14:25 「免疫性脳炎:自己抗体によるシナプス機能異常」
14:30~15:00 「多発性硬化症のバイオマーカーとその臨床応用」

池内 健(新潟大・脳研)
徳田 隆彦(京府医大)
熱田 直樹・祖父江 元(名大・医)
吾郷 哲朗(九大・医)
渡辺伸一郎(東京女子医大)
糸川 昌成(都医学研)
深田 正紀(生理研)
河内 泉(新潟大・脳研)

受講料 ▶ ◎大学生・大学院生 無料 ◎その他一般 5,000円

参加ご希望の方は、受講料を郵便振替(口座番号: 00520-1-45943、加入者名: 新潟脳神経研究会)でお送りください。(※懇親会費は無料です。)
通信費に、所属・連絡先・1日目の希望コースをご記入ください。当日まで受け付けますが、初日の見学・実習コースは定員になり次第締め切ります。

本セミナーは日本脳神経外科学会生涯
教育クレジット、日本神経学会認定医
更新取得単位の対象です。

お問い合わせ

新潟大学脳研究所 神経学夏期セミナー事務局(担当/佐藤) 〒951-8585 新潟市中央区旭町通1-757

TEL: 025-227-0606 FAX: 025-227-0814 E-mail: blib@bri.niigata-u.ac.jp URL: <http://www.bri.niigata-u.ac.jp> (脳研HP) イベント欄